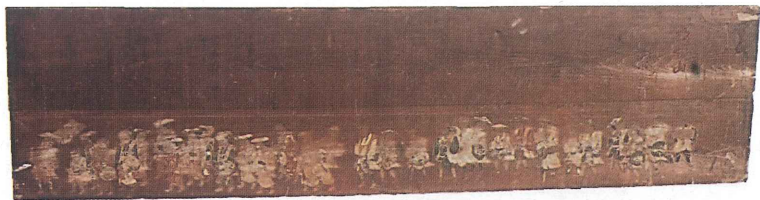


板絵着色西国巡礼図



〔指定年月日〕昭和五七年一月一日
 〔種別〕有形民俗文化財(信仰)
 〔名称〕板絵着色西国巡礼図
 〔点数〕二面(一対)
 〔所有者等〕長泉寺
 〔所在地等〕上高井戸一―一八―二

板絵着色西国巡礼図

享保一三年（一七二八）上高井戸村講中が、観音信仰による西国巡礼を記念して奉納したものである。板絵は長さ一七七cm、幅四五cmの二枚一対、やわらかい線描きのおとなしい画風で、それぞれ表面に行列図と西国三三番霊場のご詠歌が書かれている。

「武弼多摩郡上高井戸村 道行 五拾九人」の文字入りの幟を先頭に、網笠をかぶり米俵を担いでいる人など、巡礼姿の善男善女の行列図には当時の巡礼の風俗がよく示されている。第一面の左上隅には谷汲山の観音堂（岐阜県揖斐郡）、第二面の最後尾には那智の滝が描かれている。

また、それぞれの裏面には講中の姓名、年月日、絵師名の墨書がある。それによれば絵師は木挽町狩野家二代養朴門人の中田小左衛門吉信という。

本板絵は狩野派の絵師によって描かれた、区内では珍しい風俗描写の作品であるとともに、江戸中期にすでに観音信仰による上高井戸村講中が組織され、西国巡礼などの活動を行っていたことをも伝えてくれる資料である。

【文化財所在地】

